

2 世界に通じ未来支える人づくり

① 過去と未来をつなぎ世界にはばたく人材の育成

目標

過去と未来をつなぐ学びを通して、自らの生き方を考え、高い志を持ち、チャレンジ精神にあふれた、世界で活躍できる真の国際人を育てます。

現状と課題

子どもたちが、夢や希望の実現に向け、高い志を持って、失敗を恐れず、様々な困難な課題を乗り越えて生きていく力を育むことが大切です。

また、地域を知り、愛着を持つことが郷土や国を愛することにつながっていくことから、子どもも大人も千葉県の様々な魅力を認識し、より一層千葉県に対する愛着や誇りを高めていくことが求められています。

加えて、自国の歴史や文化を良く理解した上で、異文化やその多様性を認め、他国を尊重する真の国際人を育てるための教育が必要です。

取組の基本方向

「千葉県の教育に関する有識者会議」（仮称）を設置し、当面する教育課題への対応や中長期的な方向性について幅広い視野からの提言を踏まえ、千葉の未来を担い、真の国際人として活躍できる子どもを育てます。

また、子どもたちに基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、これを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む習慣や学ぶ意欲を育てていきます。

さらに、言語活動、体験活動、社会参加などを通して、創造性や企画力・課題解決能力、自主的に地域社会に貢献する態度を育てます。

加えて、子どもたちが、実際に歴史や文化に触れ、郷土や国の発展のために尽くした先人の生き方を学び、自分の学校や地域への誇りと愛着、自らが地域づくりを担うという意識を培うことにより、郷土や国を愛する心を育てるとともに、日本人としての自信と誇りを持たせます。

あわせて、子どもたちの異文化理解や国際交流を進め、国際協調の精神を養い、自国や郷土について外国語で伝えることができる力を育てます。

主な取組

1 志を持って、失敗を恐れずチャレンジする人材の育成

子どもたちが、基礎的・基本的な知識・技能を習得するとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む習慣や学ぶ意欲を育みます。

また、全国学力・学習状況調査の結果分析データに基づく学力向上策の実施や放課後補習等を行う学習サポーターの小・中学校への派遣を推進します。

あわせて、知識だけでなく、言語活動や体験活動を通じてコミュニケーション能力を育成し、子どもたちの積極的な社会参加を進めることにより、創造性や企画力・問題解決能力などを育て、自主的に地域社会に貢献する態度を養います。

- 確かな学力の向上
- 夢を育む教育の推進
- 子どもや若者の社会参加の促進
- 環境を守るために行動できる人づくりの推進

2 歴史と伝統文化に親しみ、郷土と国を愛する心の育成

子どもたちが、郷土と国の文化や歴史・伝統のすばらしさを認識し、日本人としての誇りと自信を持つことができるよう、日本を代表する様々な伝統や文化、郷土の先人の生き方や地域の風土、文化、技術を学べる教育を推進します。

また、子どもたちが、芸術を学ぶ機会や質の高い文化に触れる機会をより一層充実することにより、創造的な感性を育みます。

さらに、地域に残された伝統文化や民俗芸能などを伝承するため、それらに県民が触れる取組を推進するとともに、文化財、伝統文化の適切な保存管理等を支援します。

- 郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
- 文化に触れ、親しむ環境づくり
- 文化財の保存・継承



「ちばのやる気」学習ガイド



県指定無形民俗文化財「洲崎のミノコドリ」

3 異文化を理解し、国際的コミュニケーション力のあるグローバル人材*の育成

子どもたちが、異なる文化を持つ人々との相互理解を深め、国際社会の担い手として成長できるよう、国際理解教育の推進に努めるとともに、国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーションを積極的に図ろうとする態度を養い、外国語教育の充実を図ります。

さらに、外国人児童生徒等が日本での生活に必要な知識を身に付け、一人一人に応じた教育を受けることができるよう、市町村教育委員会や学校の受入体制を支援します。

- 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成
- 外国語教育の充実
- 外国人児童生徒等の受入体制の整備



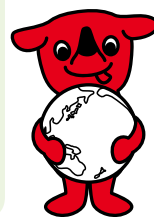
グローバル人材の育成

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

グローバル人材

成田国際空港や幕張メッセなど、千葉県のポテンシャルを最大限に生かしながら、子どもたちの異文化理解や国際交流を進めます。

さらに、国際社会での活躍のために基盤となる、コミュニケーションを積極的に図ろうとする態度、自国や郷土について外国語で伝えることができる力を育てます。



② 千葉のポテンシャルを生かした教育立県の土台づくり

目標

千葉県のポテンシャル(潜在能力)を最大限に活用し、知・徳・体のバランスに優れた元気な人材を育てる環境、すなわち「教育立県ちば」の土台をつくります。

現状と課題

子どもが読書に親しむとともに様々な体験活動に参加することは、考える力・判断する力・行動する力・向上心などを身に付ける上で重要です。また、信頼される熱意あふれる人間性豊かな教員の確保や学校の運営改善、加えて、学校と地域との連携による教育力の向上が求められています。

さらに、学校・地域では子ども、教員、保護者、地域の人々が互いに信頼し、尊重して、思いやりのある子どもを育てること、スポーツや自然の中での様々な体験により、協調性や社会性を養うことが必要です。

また、障害のある子どもに、乳幼児期から学校卒業後まで一貫した支援を行い、社会的自立・職業的自立に向けた教育を進めていく必要があります。あわせて、子どもたち一人一人の特性やライフステージに応じた適切な支援と、教育・医療・保健・福祉・労働等関係機関の支援ネットワークの構築が必要です。

加えて、地域のニーズに応える魅力ある学校づくりとともに、学校教育の発展に重要な役割を果たしている私立学校の建学の精神に基づく活動の振興を図ることが重要です。あわせて、学校は、地震等の災害発生時には、地域住民の応急的な避難場所としての役割も担っており、校舎等の耐震化・老朽化対策を進めていく必要があります。

取組の基本方向

子どもや県民の読書環境の整備や子どもたちがボランティア活動や様々な体験活動に参加する機会の充実を図ります。

また、採用選考や研修を通して人間性豊かで、幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた優れた教員の確保・育成を図ります。

さらに、幼児期から発達の段階に応じた道徳教育を推進するため、適切な教材の作成に取り組むとともに、いじめを根絶するため、子ども同士の関わりを重視し、自分も周りの人も大切に作る心を育てます。また、「運動、食事、休養」に関する基本的な生活習慣や体力づくりの基礎を指導するとともに、体力を向上させるための取組を推進します。

特別支援学校においては、児童生徒数の増加による過密化の解消、教員の専門性・資質の向上や支援体制の充実を図り、学習支援を行うとともに子どもたちの豊かな人間性を育みます。

県民から信頼される地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、社会の変化に対応した魅力ある県立高等学校づくりを推進します。

また、安全教育を発達の段階に応じて計画的・継続的に推進し、事故や災害等に対する危険予測・回避能力を身に付けさせます。

主な取組

1 読書県「ちば」*の推進

家庭や地域での読書活動を推進し、乳幼児期から子どもに言葉の美しさやリズムを体感させ、読書の習慣を養います。

また、子どもたちが進んで読書に親しむことができる環境づくりを進めるとともに、学校図書館と公立図書館の連携や図書館ネットワークの構築等を図ります。

- 家庭や地域における子どもの読書活動の支援
- 学校等における読書活動の推進
- 図書館における読書活動の充実

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

読書県「ちば」

千葉県では、「読書県『ちば』の推進」に取り組んでいます。

読書はすべての教育の基盤であり、「読む、書く、話す、聞く」力を育て、コミュニケーション能力を高めるものです。

また、想像力を高め、創造力を養い自ら学ぶ力をつけることができます。さらに、絵本の読み聞かせは、家庭の教育力を高めるなど、様々な面から効果が期待されます。



2 多様な自然、産業、人材などを生かした体験活動の推進

自然体験や生活体験、ボランティア活動、異なる年齢層の子どもたちや地域の人々と交流する機会等の提供により、コミュニケーション能力や豊かな人間性を育みます。

さらに、子どもたちが、望ましい勤労観や職業観を身に付け、社会で自立し、仕事を通じて社会に貢献することができるよう、発達段階に応じたキャリア教育を推進します。

- 体験活動を通じた心の教育の推進
- ちばのフィールドを活用した体験活動等の推進
- 実践、実習、職場体験に重点を置いたキャリア教育の推進

3 教育現場の重視と教職員の質・教育力の向上

教員採用選考の更なる工夫改善を行います。

採用後においても、教員自身の人格や見識などを磨き続け、自らを高めるとともに、今日的な教育課題にも的確に対応できる環境や研修体系を再構築し、教員全体のレベルアップを図ります。

また、段階的な少人数学級の推進など、児童や生徒の実態に応じたきめ細かな指導に努めるとともに、校長のマネジメントやリーダーシップの発揮により魅力ある学校運営ができるよう支援し、学校が抱える多くの教育課題に対して、専門家や関係機関と連携して解決を図る取組を進めます。

- 熱意あふれる人間性豊かな教員の採用
- 信頼される質の高い教員の育成
- 少人数教育の推進
- 教職員の負担軽減と学校問題解決のための支援



千葉県夢チャレンジスクールでの実験



学力向上交流会

4 道徳性を高める実践的人間教育の推進

幼児期から高等学校段階までの発達段階に応じた道徳教育を、地域の教育力を生かしながら推進します。

また、子どもたちが、豊かな人間性や道徳性を身に付け、自他がともに思いやり、支え合い、助け合うことのできる実践的な行動力を養い、他者との深い信頼関係を築き、より良い社会や国を実現しようとする態度を育てる道徳教育の充実を推進します。

- 道徳性、規範意識・社会貢献態度の育成
- 自他ともに尊重し命を大切にす心の教育の推進
- 豊かな人間関係づくりのためのコミュニケーション能力の育成

5 フェアプレーの精神を育てるスポーツ、健康・体力づくりと食育の推進

子どもたちに運動、食事、休養に関する望ましい生活習慣を身に付けさせるとともに、健やかな身体を育み、体力の向上を図ります。

また、学校全体で計画的・継続的・組織的に食育を推進します。

- 体力向上を主体的に目指す子どもの育成
- 食と農のつながりを伝える食育の推進



道徳を学ぶ高校生たち



ちば食育応援隊による食育推進イベント



魚食普及のための調理実習



体育の時間

6 一人一人の特性に目を向けた特別支援教育の推進

特別支援学校の過密化の解消を図り、幼児期からの一貫したきめ細かな特別支援教育を推進するとともに、発達の段階や障害の状態に応じたキャリア教育の充実を図り、関係部局と連携して一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援に取り組みます。

さらに、特別支援教育に関する学校と教員の専門性の維持・向上を図り、障害のある子どもたちと地域の人々との相互理解を促進するとともに、特別支援学校においては、より一層、安全で確実な医療的ケアができるようにします。

- 特別支援学校の児童生徒数増加への対応
- キャリア教育と後期中等教育の充実
- 適切な教育支援に向けての支援体制の充実
- 特別支援教育に関する教員の専門性の向上
- 地域の幼児児童生徒とともに学ぶ機会の充実
- 医療的ケアの実施体制の充実

7 豊かな学びを支える学校づくり

社会の変化に対応し、「人間形成の場」にふさわしい、活力ある県立高等学校づくりを目指します。

また、公教育の一翼を担う私立学校の経営の健全性を高めるため、私立学校に対し助成を行うとともに、適切に検査・指導を行うことにより、私立学校の振興を図ります。

- 魅力ある高等学校づくり
- 私立学校の振興
- 地域に開かれた県立学校の促進



特別支援学校寄宿舎での生活と社会生活に向けた学び



ベトナム研修員と千葉工業高校国際交流

8 安全・安心な教育環境の整備

県立学校施設の耐震化について、計画的に実施し、学校法人や市町村が設置する学校施設等についても、国や県の補助制度を活用するなどして計画的に耐震化が進められるよう、国への要望や学校法人、市町村への働きかけを行うとともに、老朽化が進む県立学校施設等の環境改善を図るための計画を策定するなど長寿命化対策を推進します。

また、安全教育を発達の段階に応じて計画的・継続的に推進し、事故や災害等に対する危険予測・回避能力を身に付けさせます。

さらに、養護教諭を中心とした教職員、学校医、医療機関等との円滑な連携を推進します。

- 校舎等の耐震化・バリアフリーの促進、長寿命化計画策定の推進
- 自助・共助の防災意識を高める防災教育と安全教育の推進
- 子どもの健康を守る学校保健の充実



防災マップを使って地域の人に聞き取り調査
(市原市立光風台小学校4年)



地域の防災マップづくり
(流山市立東部中学校1年)

③ 教育の原点としての家庭の教育力の向上と人づくりのための連携

目標

「教育立県ちば」を実現するため、教育行政と福祉・労働行政、学校教育と社会教育、産・学・官、公立学校と私立学校などが力強く連携し、人づくりの力を結集します。

現状と課題

親は、自らの行動を通して、基本的な生活習慣をはじめ豊かな情操、基本的な倫理観、自立心など、子どもの基礎的能力を育てていく役割を担っています。一方で、就学前の教育・保育を一体的に推進していくことが求められています。

また、子どもたちの社会性を様々な経験・体験の中で育むため、地域の様々な教育力を活用し、世代を越えた地域住民が連携・協力して子どもたちの育成にかかわっていくことや家庭、学校、地域、企業などが相互に協力していく必要があります。

さらに、子どもたちが様々な困難にもかかわらず、修学の機会が保証され、安全・安心に学ぶことのできる環境とチャレンジできる仕組みが整っていることが必要です。

加えて、子どもも大人も生涯にわたって学び続けることのできる生涯学習社会の実現に向けて、博物館、美術館、図書館、公民館などの社会教育施設の機能の充実と相互の連携などが求められています。

取組の基本方向

親が自信と誇りを持って子育てを行い、親も子どもと一緒に学び、育っていくことができるよう、全ての親に対して子育ての在り方や重要性を啓発し、家庭の教育力の向上を支援します。

また、地域のニーズを踏まえた学校づくりを進めるため、学校と地域のネットワークを構築し、教育力を高めるとともに、地域で様々な活動に取り組んでいるグループや人をつなぐコーディネーターを発掘・育成し、生涯学習のネットワークを構築します。

さらに、行政・民間・市民活動団体・医療機関等が連携したセーフティネットを構築し、地域全体で子どもや若者の支援を行います。

主な取組

1 「親学」の導入など家庭教育の支援

全ての教育の出発点である家庭教育を支援するとともに、幼稚園・保育所等と家庭が十分に連携を図ることにより、保護者の幼児教育に関する理解の促進を図ります。

また、学校行事など様々な機会を効果的に活用し、家庭と学校・地域社会が理解し合い、協力し合う環境づくりを進めます。

さらに、思春期の子どもの悩みの相談等により、心と体の健全な育成を図るとともに、学校において、家族の役割や命の尊さなどについて学習する機会の充実を図ります。

- 家庭教育への支援
- 幼児教育の充実
- 学校・地域における家庭教育の普及
- 思春期の児童生徒や家庭への支援
- 親となっかけてかけがえのない子育てを行うための教育の推進



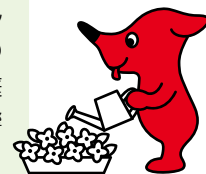
親の学びプログラム活用事業「食育講座」

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

教育の原点としての家庭

家庭教育は、すべての教育の出発点であり、乳幼児期の子どもにとって、一緒に生活する親が、最も身近な手本となります。

また、文部科学省で実施した全国学力・学習状況調査の分析では、学習習慣には家庭でのコミュニケーションが影響していると言われています。





千葉県夢チャレンジ体験スクール



千葉県内で働く医療者になる

2 学校教育と社会教育、国公立教育と私学教育、産・学・官、公と民などのネットワークの構築

世代を越えた交流による教育の質の向上や職業的な自立のための、教育・労働・福祉・医療・企業等の関係機関との連携体制の整備を推進します。

また、大学等と連携し、高等教育機関で生み出され、蓄積された知的資源が広く社会で活用されるよう努めるとともに、県教育委員会と市町村、私学等との連携協力体制の強化に取り組みます。

- 地域の力を結集した地域教育力の向上
- 産・学・官の連携強化による子どもの自立への支援
- 社会教育機能の連携強化など、生涯学習社会を目指した取組の支援
- 高等教育機関との連携
- 県教育委員会と市町村、私学等との連携強化

3 様々な困難を抱えている子どもとその家族を支援する取組の強化による教育のセーフティネットの構築

いじめや不登校、発達障害など様々な問題を抱える子どもとその家族に早期に対応するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家と連携を図り、安心して悩みを相談できる体制の充実などきめ細かな指導体制を整備するとともに、地域全体で子どもやその親の支援を行います。また、スクールカウンセラーの小学校派遣についても積極的に進めます。

これらの取組に加え、関係者と連携し、「いじめ防止条例」(仮称)等いじめ防止への更なる取組の充実を図ります。

また、経済的理由により修学が困難である生徒や家族への支援などを行うことにより、教育のセーフティネットの構築に取り組みます。

- いじめや不登校に対する相談体制の充実
- 障害のある幼児児童生徒とその保護者に対する、早期からの教育相談支援の充実
- 家庭生活に様々な困難を抱えている子どもたちへの対応
- 保護が必要な児童対策の充実・強化

④ 多様化する青少年問題への取組

目標

子ども・若者の健やかな成長と社会的・経済的な自立を支援します。

現状と課題

少子高齢化、情報化、雇用形態の多様化、厳しい雇用情勢など、青少年を取り巻く環境が大きく変わるとともに、青少年問題も多様化・複雑化しています。

情報化社会の進展に伴い、スマートフォン等の情報端末を介して、子どもたちがネットいじめ・非行・犯罪被害など様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加しています。

また、ニートやひきこもり、不登校などの青少年を取り巻く問題が深刻化し、こうした社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者への支援の在り方が大きな課題となっています。

さらに、子どもたちが経済的に困難な状況に置かれたことにより、様々な機会を奪われ、人生の選択肢を狭めてしまう可能性のある「子どもの貧困問題」への対応が課題となっています。

子ども・若者の健やかな成長と社会的自立を実現するためには、社会環境の変化を踏まえ、家庭・学校・地域がそれぞれの立場から責任を自覚し、相互に協力しながら、適切な環境づくりを進めていくことが必要です。

取組の基本方向

多様化する青少年問題に的確に対応するため、家庭・学校・地域が連携し、社会全体で子ども・若者の成長を支える社会づくりに取り組みます。

このため、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者に対して、状況に応じた支援を行うとともに、非行に陥ったり、犯罪被害に遭った子ども・若者の立ち直りを支援します。

さらに、青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための広報・啓発の充実と、青少年にとって良好な環境の整備に努めます。

主な取組

1 困難な状況や、特に配慮を要する子ども・親の支援

「千葉県子ども・若者総合相談センター(ライトハウスちば)」により、困難を抱えている子ども・若者やその保護者の相談に応じ、必要な情報の提供や助言、適切な専門機関の紹介を行います。

官・民の様々な機関で構成される「千葉県子ども・若者支援協議会」において、「ライトハウスちば」の相談事例等を通じて、困難な状況を抱える子ども・若者への切れ目のない総合的な支援の在り方を検討し、実際の支援に生かすとともに支援機関の人材の養成を行います。

また、市町村における支援協議会の設置に向けた取組の推進を図ります。

■千葉県子ども・若者総合相談センターの運営

2 子どもの貧困問題への対応と経済的支援

「子どもの貧困」とは、子どもが、経済的に困難な状況に置かれ、発達の諸段階における様々な機会を奪われ、大きな不利を負ってしまうことをいいます。人間形成の重要な時期である子ども時代を貧困のうちに過ごすことは、学習意欲や、ひいては将来の夢・希望を持つことにも影響を及ぼし、人生の選択肢を狭めてしまう可能性があるため、このような状況にある子どもたちへの支援を行います。

- 千葉県社会福祉協議会に対する生活福祉資金貸付事業に係る事業費や貸付原資の補助
- 子ども医療費の助成(再掲)
- 高等学校、特別支援学校(高等部)の生徒への修学援助
- 特別支援学校に在籍する児童生徒の就学費用の補助
- 私立高等学校等の入学金軽減・授業料減免の補助

ひとりで悩まず相談を！



「ライトハウスちば」

(千葉県子ども・若者総合相談センター)

☎ **043(301)2550**

(火曜～日曜 10:00～17:00)

FAX **043(287)8818**

✉ lighthouse@abeam.ocn.ne.jp

専門の相談員が電話であなたの悩みを聞き、適切な支援機関を探し、そこへ確実に「つなぐ」業務を行っている、県が設置したセンターです。



ライトハウスちば広報カード

3 非行・犯罪防止と立直り支援

関係機関・団体、地域住民と青少年に対する共通の理解と認識を深めるため、県下一斉合同パトロールの実施や広報啓発活動を推進します。

また、地域の青少年の非行防止に大きな役割を担っている青少年補導センターや少年警察ボランティア活動の支援と少年センターによる少年サポート活動を推進します。

さらに、青少年問題に対する相談体制を充実し、自立を支援するとともに、青少年を犯罪被害から保護するため、福祉犯罪*の取締りを強化します。

- 非行防止に関する広報啓発事業
- 青少年補導員活動の活性化に向けた支援
- 少年補導員活動の推進
- タッチヤング活動*の推進
- 少年サポート活動の推進
- 少年事件及び福祉犯罪の取締りの推進
- 薬物乱用防止等広報啓発活動の推進
- 少年補導専門員委託教養の推進

4 多様な主体による取組と関係機関の機能強化

青少年相談員や青少年補導員等の青少年育成支援団体の活動を支援するとともに、それぞれの団体間の連携を強化します。

また、地域における青少年育成活動の基盤強化のため、青少年育成市町村民会議の設置を促進し、市町村民会議間の情報の共有化や活動の連携を進めます。

- 青少年相談員の育成と活動支援
- 青少年育成千葉県民会議事業への支援



薬物乱用防止キャンペーン



青少年ふれあいキャンプ

5 子どもを守る環境の整備と情報化社会への対応

千葉県青少年健全育成条例に基づき、書店・カラオケボックス・ネットカフェ・携帯電話業者等への立入調査の実施や、有害図書・有害玩具等の指定により、青少年にとって良好な環境の整備に努めます。

スマートフォン等の情報端末やインターネットの適切な使い方について、関係機関と情報共有を図るとともに、フィルタリングの普及など子どもたちや保護者への啓発を進めます。

また、インターネット上に氾濫する有害情報から少年を守るために、ボランティアによる出会い系サイトへのパトロールや児童ポルノの根絶に向けた取組を推進するとともに、サイバー犯罪の被害者にも加害者にもならないよう、学校・地域住民等に対して出前式講話による「ネット安全教室」の開催を推進します。

- 書店・携帯電話業者等への立入調査の実施
- インターネット等の適切な利用に向けた広報啓発の推進
- 少年を取り巻くインターネット環境浄化活動の推進
- 学校・地域住民等に対するネット安全教室の推進

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

インターネットの安全・安心な利用のために

進展する情報化社会の中で、青少年が安全に安心してインターネットを利用できるよう、また、青少年をネットによるいじめ、非行、犯罪から守るため、青少年の利用頻度が高いサイト(プロフ、ブログ、掲示板等)の監視を行う青少年ネット被害防止対策事業(ネットパトロール)を実施しています。

パトロールの結果は、県・市町村教育委員会等に情報提供し、削除を含めた指導に活用しています。

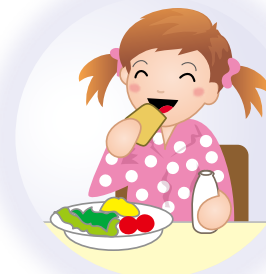


青少年のつどい大会



子どもネット安全教室

千葉県・子どもの誓い 「7つの大切なこと」



「早寝・早起き・朝ご飯」、
規則正しい生活を大切にします。



「おはよう」「こんにちは」の
あいさつを大切にします。



「ありがとう」「ごめんなさい」と
言える気持ちを大切にします。



お友だちやお年寄り、
周りの人を大切にします。



嘘をつかず、正直に話し、
話し合いを大切にします。



してはいけないことはしません。
ルールを大切にします。



夢を持ち、何ごとともあきらめず、
チャレンジする気持ちを大切にします。